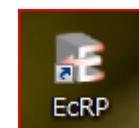


目次

1. EcRP の起動.....	2
1.1. ログオン.....	2
1.2. 処理メニュー.....	3
1.3. EcRP のライセンス.....	4
1.4. データベースとの接続.....	5
1.5. バージョンアップ.....	7
1.6. ログイン情報.....	8
1.7. プログラマブルボタン.....	8
1.8. メッセージ表示枠.....	9
1.9. メッセンジャー.....	10
1.10. メール.....	13
1.11. ヘルプ.....	14

1. EcRP の起動

デスクトップ上の EcRP アイコンをダブルクリックすると、EcRP アニメーションが表示され、EcRP が起動します。



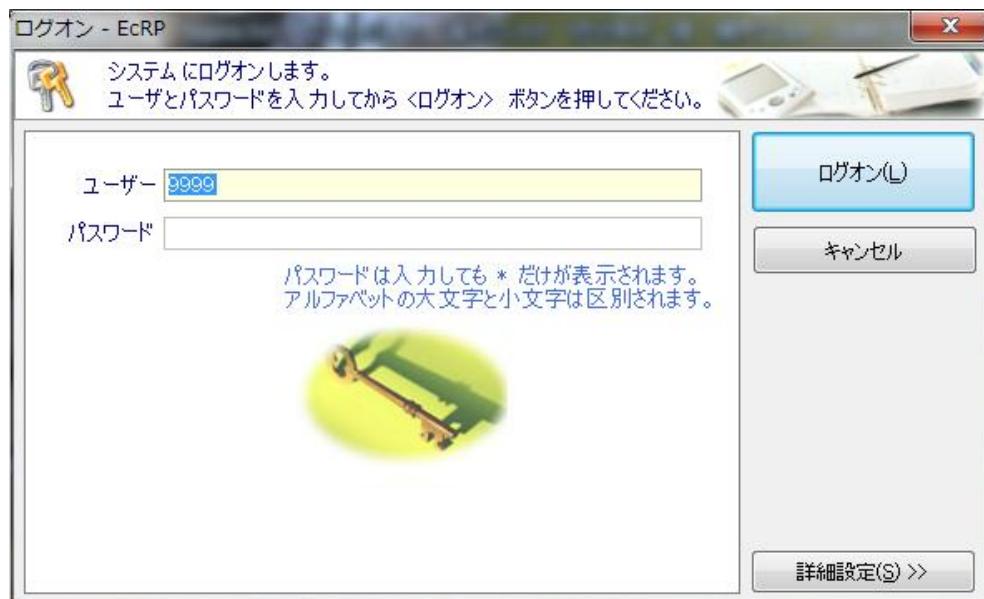
[EcRP アイコン](#)



[EcRP 起動アニメーション](#)

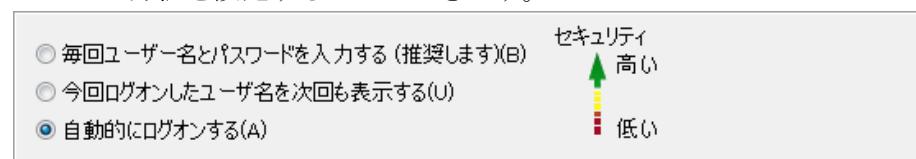
1.1. ログオン

最初に、ログオン画面が表示されます。



[ログオン画面](#)

- 「ユーザー」にユーザーIDを、「パスワード」にパスワードを入力し、「ログオン」ボタンをクリックします。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、EcRP が終了します。
- 「詳細設定」ボタンをクリックすると、画面下部に以下が表示されますので、ログオンの方法を設定することができます。



[ログオンの設定](#)

※「自動的にログオンする」は、パスワードの入力も不要に成りますので、セキュリティが確保されませんので注意が必要です。

1.2. 処理メニュー

ログオンが成功すると、メニュー画面が表示されます。

メニューは、「業務」、「台帳」、「保守」の3つのカテゴリに分かれており、画面右側にカテゴリ別の機能が一覧表示されます。



1.3. EcRP のライセンス

処理メニュー画面の EcRP ロゴをクリックすると、「この製品について」画面が表示されます。



ブラウザを起動し、プロ
ファイルセンターの
Web サイトを表示しま

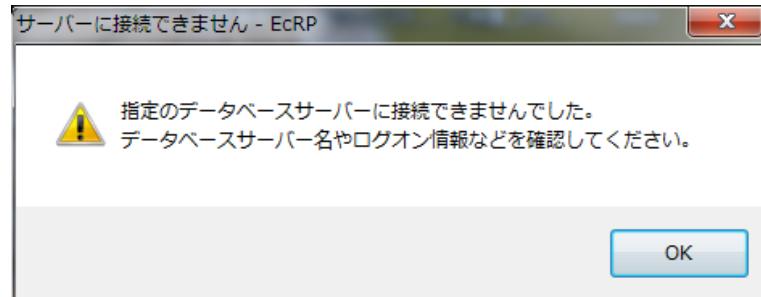
EcRP のデータベース
との接続情報を定義し
ます。

EcRP のバージョンア
ップを行います。

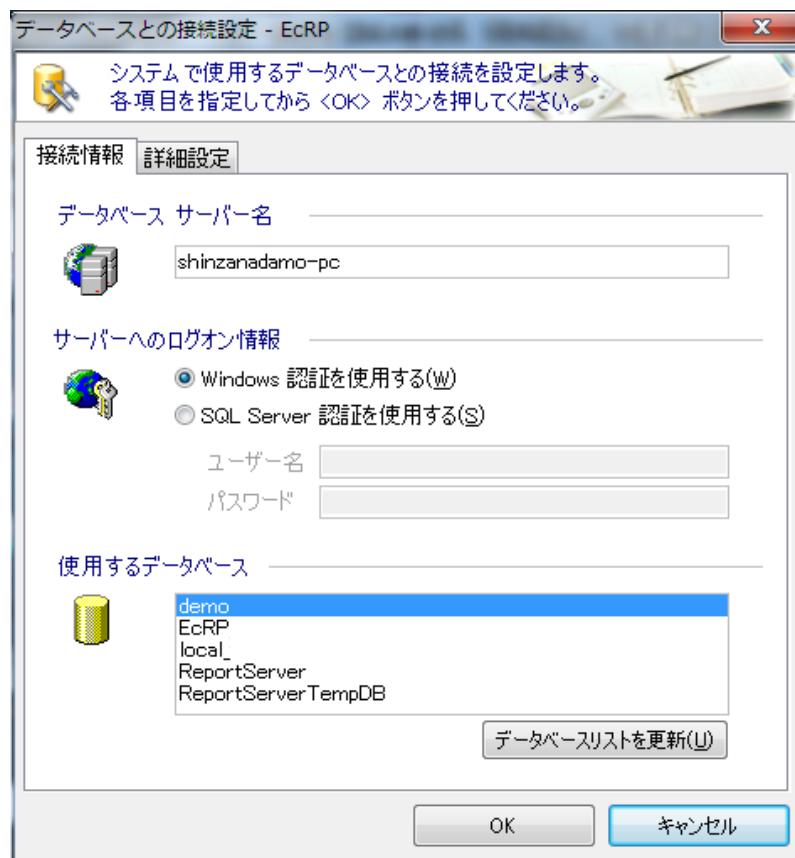
1.4. データベースとの接続

EcRP は、データベースとして SQLServer を利用しています。

データベースへの接続ができない場合、右図のような画面が表示されますので、OK をクリックして、データベースとの接続設定を行います。



データベースサーバー接続エラー



データベースとの接続設定 (接続情報)

＜データベースの接続情報＞

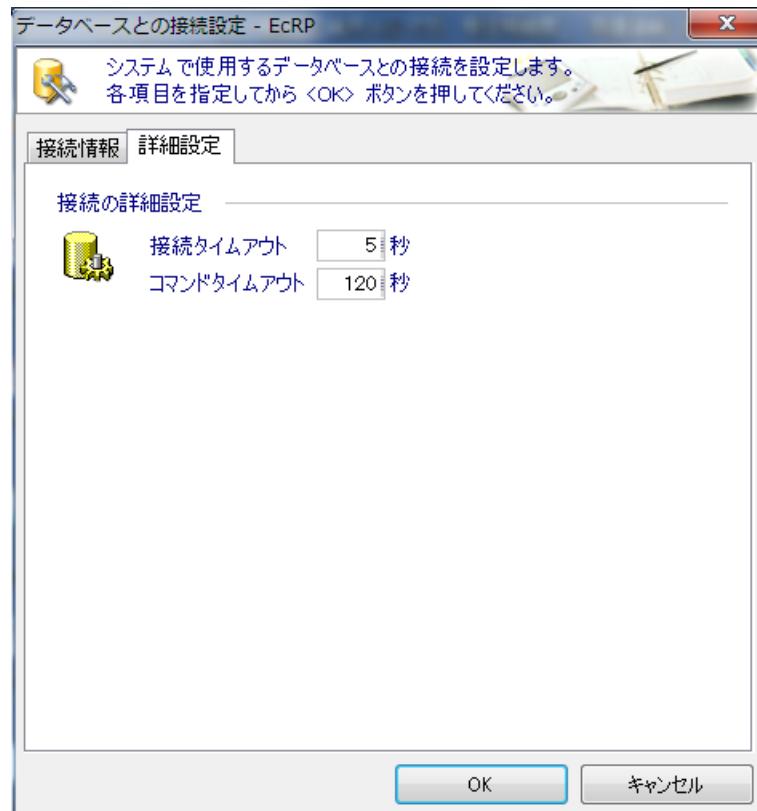
- ・データベースサーバー名：データベースのあるサーバー名を指定します。
- ・サーバーへのログオン情報：認証方式を選択します。SQLServer 認証を使用する場合には、サーバー管理者にユーザー名とパスワードをご確認ください。
- ・使用するデータベース：「データベースリストを更新」ボタンをクリックすると、サーバーへアクセスし、サーバー内のデータベースが一覧表示されますので、EcRP で使用するデータベースを選択します。

サーバー、ログオン情報、データベースの設定が完了したら、OK をクリックします。データベースを変更すると、EcRP は再起動します。

<詳細設定>

通常はデフォルト設定のままご使用ください。タイムアウトが頻繁に発生する場合にはこの値を変更するかネットワークの状態を確認します。

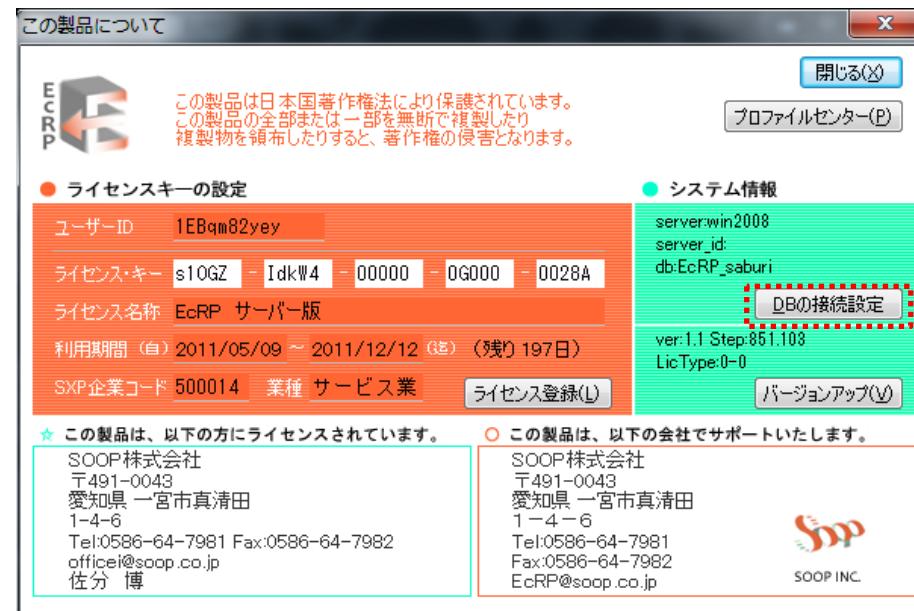
- ・接続タイムアウト：データベース接続時の待ち時間の上限値を秒で指定します。
- ・コマンドタイムアウト：データベースにアクセスして結果を受け取るまでの待ち時間の上限値を秒で指定します。



データベースとの接続設定（詳細設定）

※データベースの接続設定を変更する場合には、「この製品について」画面の「DB の接続設定」ボタンをクリックして行うこともできます。

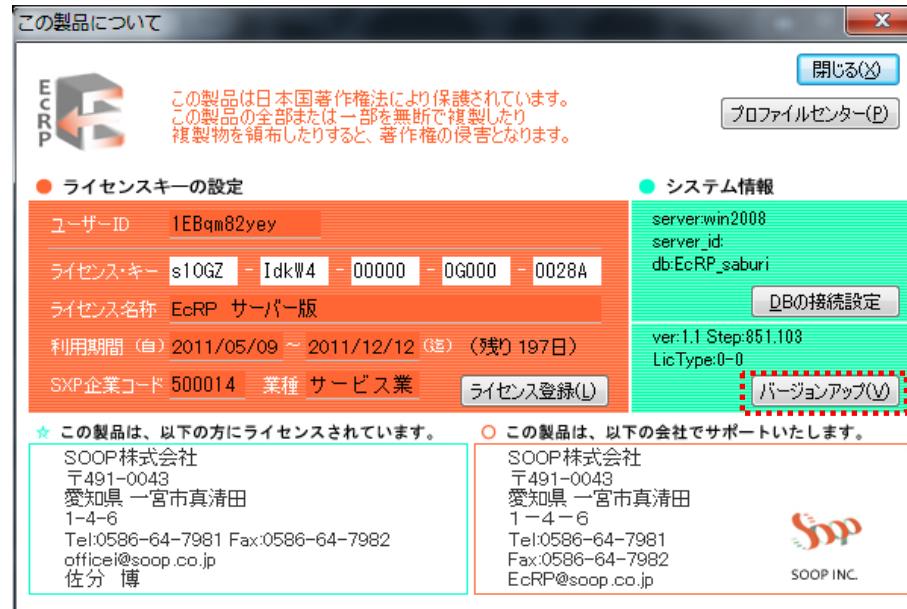
- ・サーバー、ログオン情報、データベースの設定が完了したら、OK をクリックします。データベースを変更すると、EcRP は再起動します。



この製品について（DB の接続設定）

1.5. バージョンアップ

EcRP のバージョンアップを行う場合には、「この製品について」画面の「バージョンアップ」ボタンをクリックします。



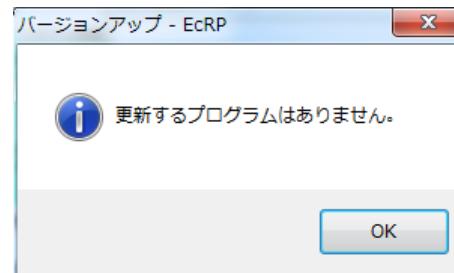
[この製品について \(バージョンアップ\)](#)

- バージョンアップの確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



[バージョンアップの確認](#)

- バージョンアップ・プログラムが存在する場合には、[EcRP のバージョンアップが始まり、EcRP が再起動されます。](#)
- EcRP が最新バージョンの場合には、以下の画面が表示されます。更新プログラムはありませんので、OK をクリックします。

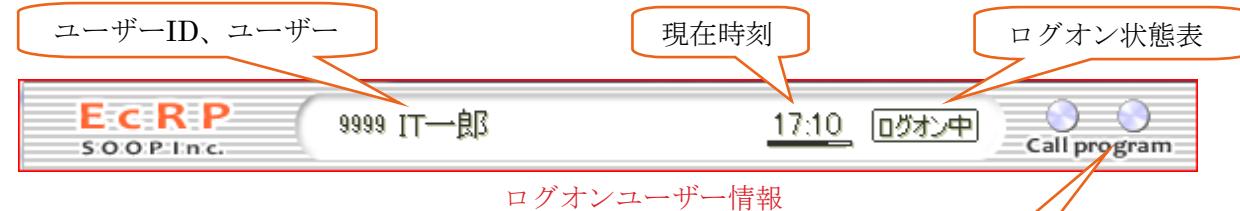


[バージョンアップ \(更新プログラムなし\)](#)

1.6. ログオンユーザー情報

処理メニュー画面の上段には、ログオンユーザー情報として、ユーザーID、ユーザー名、EcRP のシステムタイム（現在時刻）が表示されます。

「ログオン中」の状態表示ボタンをクリックすると、ログオフして、ログオン画面（1.1 参照のこと）が表示されます。



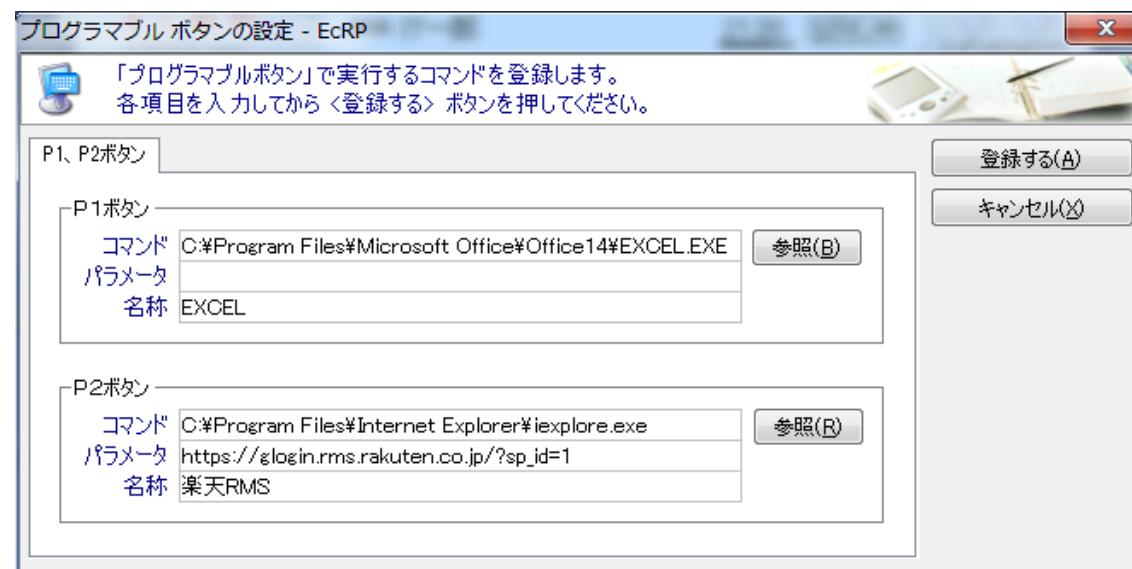
1.7. プログラマブルボタン

処理メニュー画面の上段右には、Call program ボタンが 2 つ表示されています。

EcRP 使用中に利用する頻度の高いプログラムを予め定義しておくと便利です。

下図は、左の(P1)ボタンに Excel を、右の(P2)ボタンに楽天 RMS のログイン画面をすぐに起動するように定義した例です。

ボタンをクリックすると該当プログラムが起動します。右クリックすると、下図のプログラマブルボタンの設定画面が表示されます。



プログラマブルボタンの設定

1.8. メッセージ表示枠

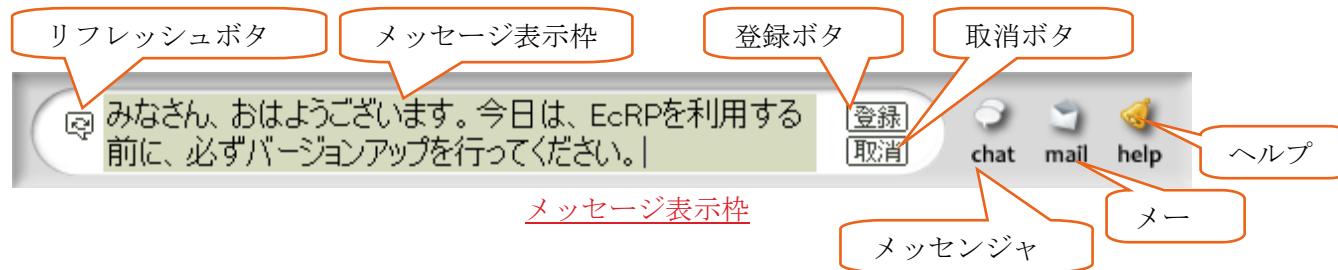
処理メニュー画面の下段には、メッセージ表示枠があります。編集ボタンをクリックすると、メッセージの編集枠が表示されます。

メッセージ枠は上下2行に分かれています。各1行には、全角でMAX25（フォントによって異なる）文字程度まで入力することができます。

EcRP利用者全員にメッセージを伝達する際に利用すると便利です。

メッセージ編集完了後は、Enterキーか「登録」ボタンをクリックすると、メッセージが格納されます。

「取消」ボタンをクリックすると、編集がキャンセルされます。



処理メニュー画面の下段右側には、chat、mail、helpボタンがあります。

それぞれのボタンをクリックすると、メッセンジャー、メール、ヘルプ画面が、各々表示されます。

1.9. メッセンジャー

処理メニュー画面の下段右側にある **chat** ボタンをクリックすると、メッセンジャー画面が表示され、EcRP のユーザーが一覧表示されます。

人のマークが薄い場合は、そのユーザーは EcRP にログオンしていない事を示します。



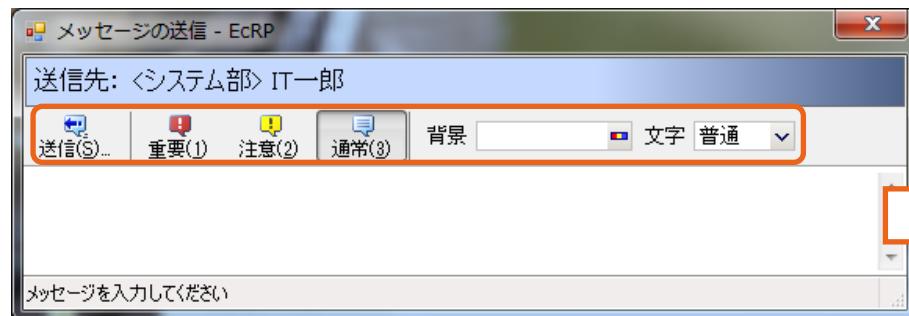
コード	並び順	部門	名称	メール1(ログオン時)	メール2(ログオフ時)
5001	1	総務部	SOOP太郎	taro@soop.co.jp	taro@docomo.ne.jp
5002	2	総務部	SOOP花子	hana@soop.co.jp	hana@softbank.ne.jp
5003	3	総務部	SOOP次郎	jiro@soop.co.jp	jiro@ezweb.ne.jp
5004	4	営業部	宮業一郎	eigyo@soop.co.jp	
5005	5	商品部	商品一郎	syohin@soop.co.jp	
5006	6	物流部	物流一郎	buturyu@soop.co.jp	
9999	7	システム部	IT一郎	office@soop.co.jp	office@soop.co.jp

メッセンジャー

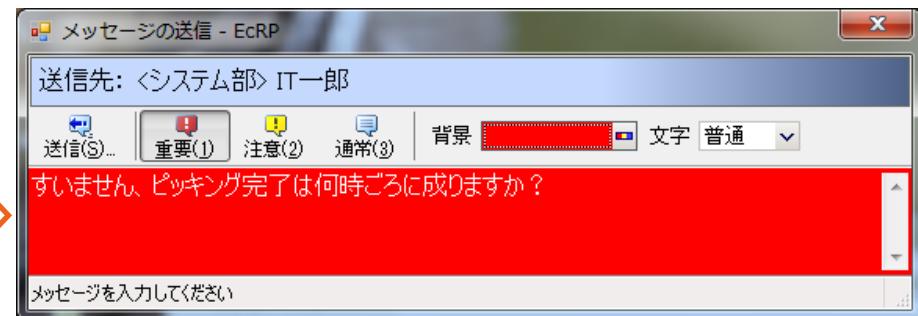
メッセージを送信したいユーザーを（複数選択可）選択し、「メッセージ」、「メール1」、「メール2」のいずれかのボタンをクリックします。

「メッセージ」以外のボタンをクリックした場合は、選択したユーザーを宛先とした通常使用されているメールソフトが起動します。

「メッセージ」のボタンをクリックした場合は、「メッセージの送信」画面が表示されます。



メッセージの送信（初期状態）

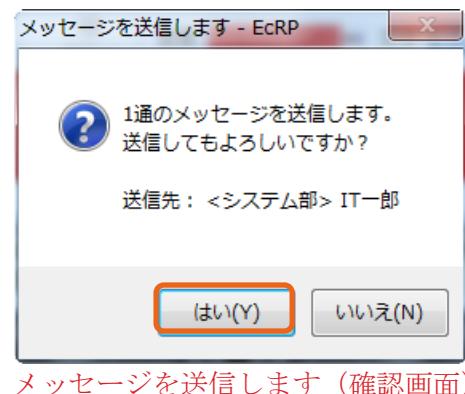


メッセージの送信（編集後）

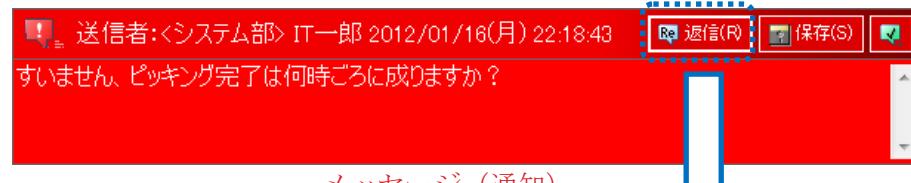
メッセージを入力後、重要度を選択し、必要ならば背景色や文字の大きさを選択し、「送信」ボタンをクリックします。

「メッセージを送信します」の確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

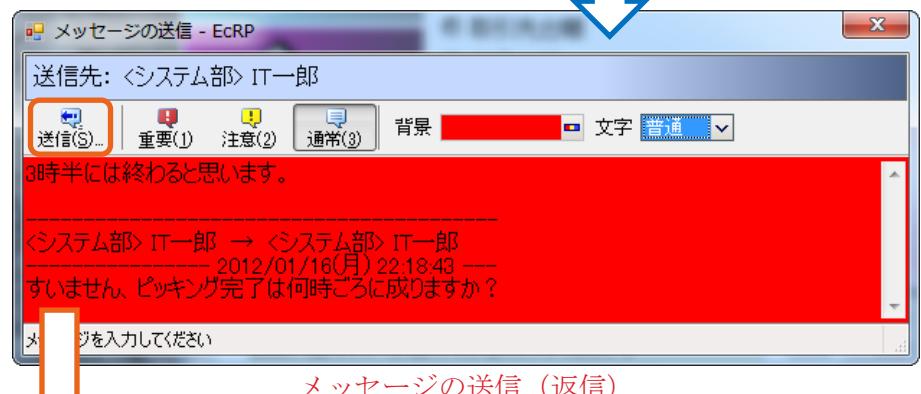
メッセージが相手ユーザーに送信されます。相手ユーザーがログオンしていれば直ぐに、ログオンしていなければログオン時に、下右図のように画面にメッセージが表示されます。



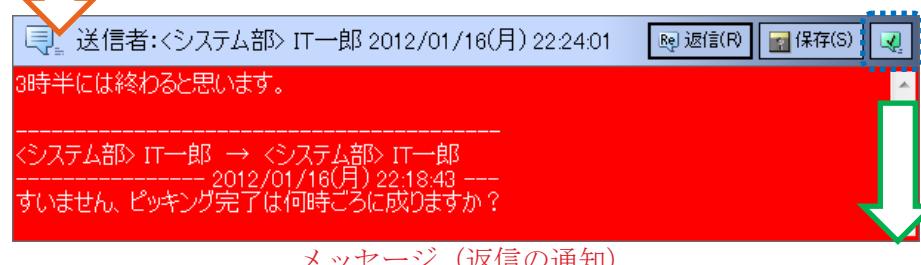
メッセージを送信します (確認画面)



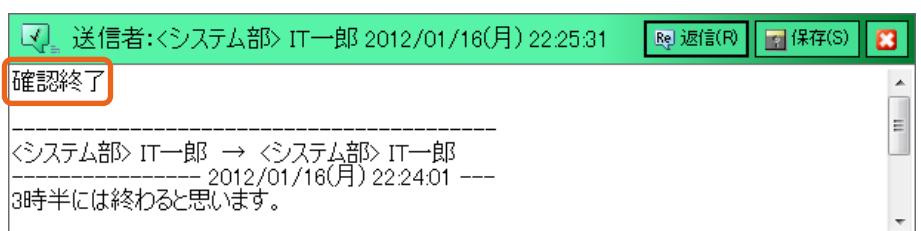
メッセージ (通知)



メッセージの送信 (返信)



メッセージ (返信の通知)



メッセージ (確認の通知)

通知されたメッセージに返信する場合には、「返信」ボタンをクリックします。
「メッセージの送信」画面が表示されますので、返信メッセージを入力し、
「送信」ボタンをクリックします。

最初のメッセージを送信したユーザーの画面に、返信メッセージが表示されます。この場合も相手ユーザーがログオフしている場合は、ログオン時に表示されます。

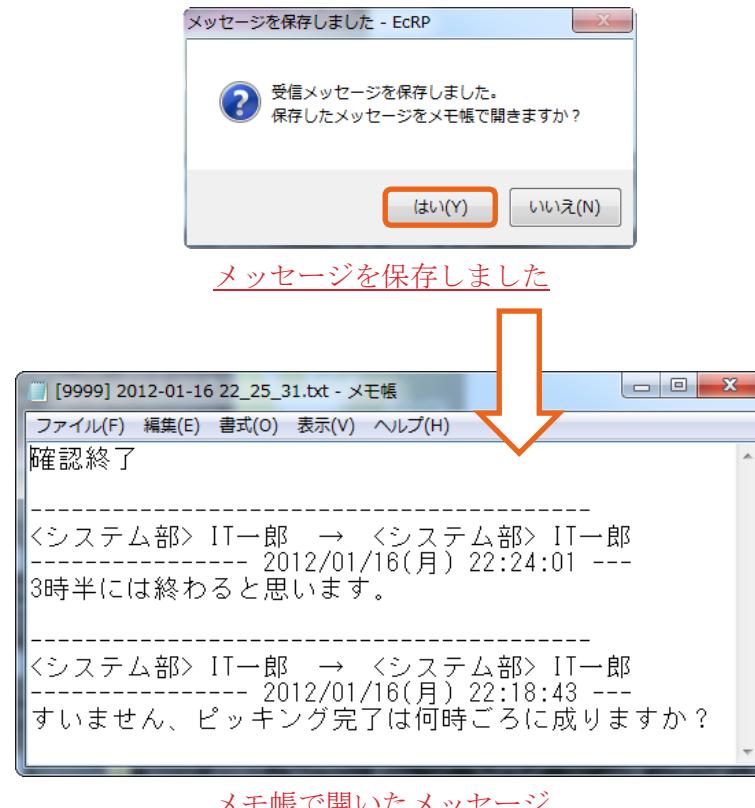
返信されたメッセージを確認する場合には、「」ボタンをクリックします。
この場合は、「メッセージの送信」画面は表示されずに、確認の旨を伝えるメッセージがすぐに返信されます。

通知メッセージを保存する場合は、「保存」ボタンをクリックします。

メッセンジャーの環境設定で指定されたフォルダ内に、【保存したユーザーの ID】+日時.txt のファイル名で保存されます。

「メッセージを保存しました」の確認画面が表示されますので、「はい」をクリックすると、保存されたメッセージがメモ帳で開きます。

必要な場合は、適当なファイル名を付けて任意のフォルダに保存してください。

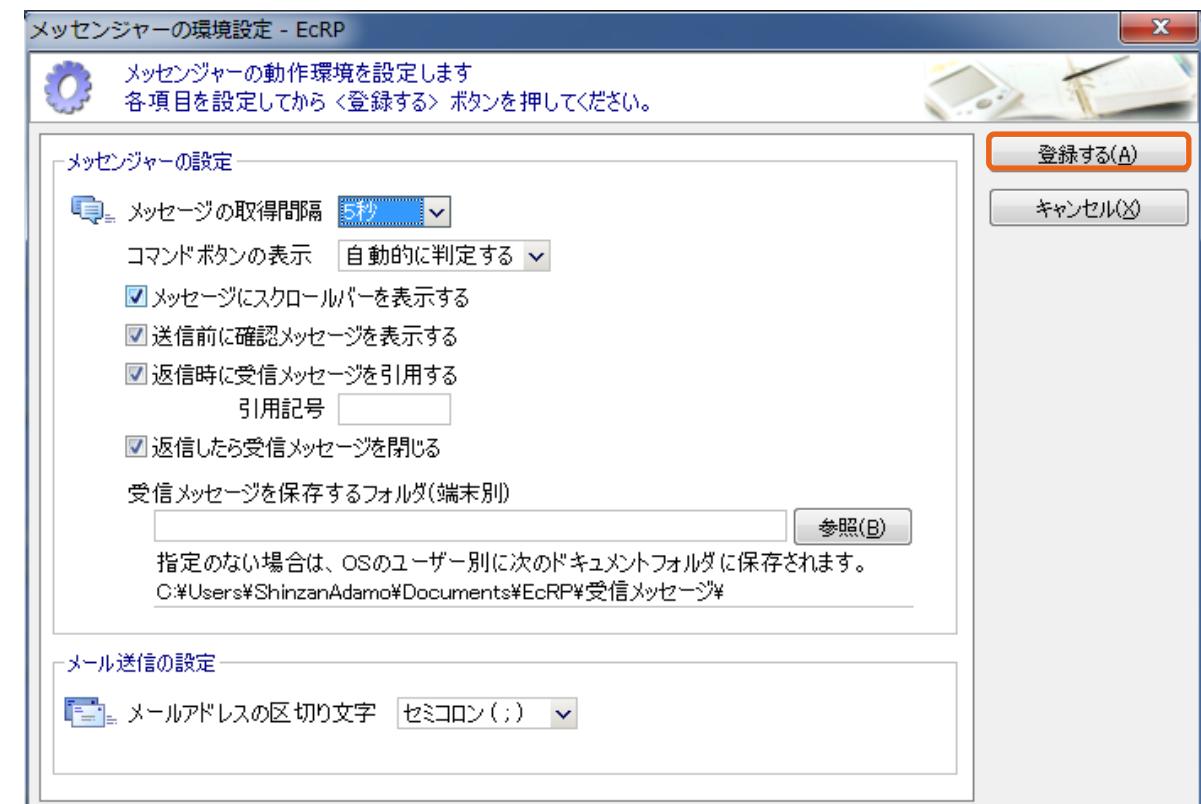


メモ帳で開いたメッセージ

【メッセンジャーの環境設定】

「メッセンジャー」画面の「設定」ボタンをクリックすると、「メッセンジャーの環境設定」画面が表示されます。

利用しやすいように各種項目を変更し、「登録する」ボタンクリックして登録します。

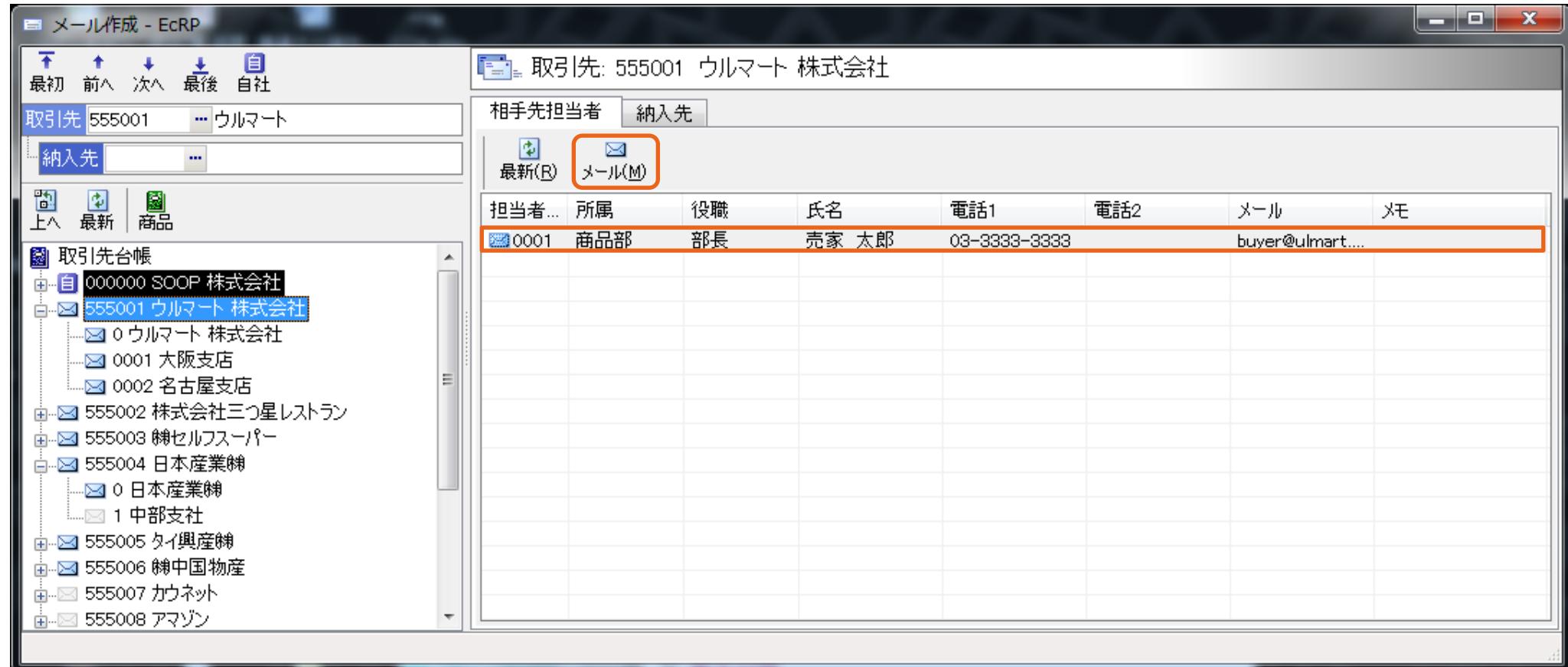


メッセンジャーの環境設定

1.10. メール

処理メニュー画面の下段右側にある mail ボタンをクリックすると、メール作成画面が表示され、左欄に取引先と納入先が表示されます。

■マークが薄い場合は、メールアドレスの登録がない事を示します。



納入先は左欄で直接選択することも可能ですが、左欄の取引先を選択した後に右欄の納入先タブをクリックする事でも選択が可能です。

メールを送信したい担当者を選択し、「メール」ボタンをクリックすると、選択した担当者を宛先とした通常使用されているメールソフトが起動します。

1.11. ヘルプ

オンラインサポートのご契約を頂いた方のみ、ご利用いただけます。

遠隔地からオンラインによりユーザーの操作を確認します。また、ユーザーに代わって EcRP の操作を行いながらご説明をすることも可能です。

詳細は、サポート契約を頂いたユーザーさま向けに提供いたします『ヘルプ操作マニュアル』をご覧ください。